

## あきる野市定例議会 6月議会一般質問

たばた議員

### (1) 防災について

東日本大震災を受け、防災についてのさまざまな見直しが行われている。

市内小学校の引き取り訓練について、大幅に見直され、5月7日には中学校を含めた大規模震災訓練が行われた。訓練は可能な限り現実に則したものにすべきであり、積極的な取り組みは高く評価している。さらに今後の課題について問う。

ア 食料や毛布の備蓄、停電時や断水時の対応など、今後どうしていくのか。

イ 国や東京都は、現在集団下校としている中学生についても引き取り対象にする考えのようだが、今回の訓練を見ても、引き取り者としての中学生の存在は重要である。市はどのように考えているか。

「ご近所」の力が見直されている。普段から隣り近所の付き合いを結び、防災時にも役立つ助け合いを支援する取り組みをすべきと考えるがどうか。

### (2) 小机坂歩道の整備について

小机坂の歩道は、日の出町側が進んでいるもののあきる野市側が一向に進まず、かねてより早急な整備を望む声が上がっている。現在の状況と今後の予定はどうなっているか。

### (3) 原発について

5月5日、日本国内すべての原子力発電所が停止した。福島第一原発の事故はあちこちに放射性物質をまき散らし、多くの人々のふるさとを奪った。自然豊かな暮らしと原発が相いれないことは、もはやだれの目にもあきらかである。

「脱原発をめざす首長会議」が結成され、全国の首長に参加の呼びかけがされたと聞く。当市市長はこの呼びかけにどう答えたのか。

環境都市を掲げる市として、脱原発をめざすべきと考えるが、市長の考えは。